

# 創造から新しい創造へ

キリスト教から見た津波・フクシマへのひとつの観点 レンズ

日時：2015年1月31日（土）

13：30 開場

14：00 開演～15：30 終了予定

場所：青山学院大学 17号館 17810 教室

入場：無料

講師：スコット・ヘイフマン教授

（英 セント・アンドリュース大学）

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故から四年の月日が経とうとしています。青山学院大学総合研究所プロジェクトのひとつとして「3.11以降の世界と聖書」というテーマをかけた、危機の時代に聖書を読む意味を模索してきました。今回セント・アンドリュース大学神学部スコット・ヘイフマン教授による講演会を開催いたします。聖書に描かれた幾度かの破局的状況をひもときながら、現代世界への視座を得ることができればと願っています。



セント・アンドリュース大学神学部 (St Mary's College) 新約聖書学教授。  
ドイツ、テュービンゲン大学にて神学博士号を取得後、  
ウィートン・カレッジ（米国イリノイ州）新約ギリシア語および  
釈義担当教授、ゴードン・コンウェル神学校（米国マサチューセッツ州）  
新約学教授などを歴任後、2011年より現職。  
チャド（アフリカ）での孤児救済活動支援団体代表を務めるほか、  
ギリシア、クロアチア、インド、カナダ、韓国でも講演。  
『苦難と聖霊 II コリント 2:14-3:3 の釈義研究』、  
『パウロ、モーセ、イスラエルの歴史』ほか著書、論文多数。  
I、IIベトロ書、ユダ書の注解書、パウロ神学についての研究書を執筆中。

